

男子 2部リーグ戦

勝ちチーム	70 18-14 18-18 12-18 22-18	68	負けチーム
びわこ成蹊スポーツ大学		大阪商業大学	
勝ち点3		勝ち点5	

【総括】

前半は両チームともに流れを掴めず均衡が続く。そのまま均衡が続くかに思われたが第2ピリオドに差し掛かるあたりでびわこ成蹊スポーツ大学が優勢となる。しかし、第3ピリオド終盤、大阪商業大学#44武本の投入により大商大が優位を得る。そのまま大商大有利で進むと思われたがチームファウルを重ねたツケがたたりびわこのフリースローにより均衡した展開にもつれ込む。気迫の第4ピリオド両チーム一歩も譲らない展開が続く。全体的に均衡した試合となったが70-68で試合を制したのは大商大最後のオフェンスを打ち崩したびわことなった。

びわこ#21今井#35石川らがたくし続けにシュートを決めてびわこ有利で試合が始まる。大商大は3Pシュートやフリースローで得点し開始5分でびわこに迫く。しかし、びわこ#13豊田の3Pシュートが流れを作り、18-14びわこ有利で第1ピリオドを終える。

試合開始後、硬直していた得点をびわこ#35石川のガッツあるプレーでフリースローをもぎ取り得点を取る。このピリオドはお互いに流れを掴み切れないものとなった。大商大はびわこに迫りついても試合終盤で追い抜かれてしまい36-32で前半を終える。

後半、びわこが攻勢に出る#35石川のフリースローを皮切りに大商大の24秒オーバertimeを誘い、その後、#26中塚のバスケットカウントで流れを呼び込む。一方、大商大も負けじと食らいつく。#7山下の3Pシュートを中心にびわこを追いかける。終盤、大商大がびわこを追い抜くもののチームファウルが重なりびわこにフリースローをゆるしてしまい50-48の大商大の有利で第3ピリオドを終える。

両チーム一步も譲らない一進一退の攻防がつづく。大商大は7山下のスリーポイントを中心に、びわこは屈強なゴール下を軸に攻めるものの決め手に欠け均衡が続く。試合終了30秒前、同点の展開で大商大がタイムアウトを取り闘志を繋げる。しかし、それを打ち破りびわこ#8山口が得点し68-70でびわこが勝利を収める。

[illegible]